

報告者

横地優子先生

(京都大学文学研究科)

報告タイトル

南アジアの女神信仰とジェンダー



【報告要旨】

南アジアでは、中世初期(5-6世紀頃)に女神信仰がヒンドゥー教の主流に台頭し、それは現在に至るまで継続している。が、同時に南アジア中世では、女性に対する社会的規制・束縛が強くなり、女性の社会的地位は低下していったと考えられている。本報告では、最近出版された岩波講座世界歴史第4巻に含まれている拙論「女神信仰とジェンダー」をもとに、南アジア中世において女神信仰が台頭したメカニズムを、ジェンダーの視点を含めて概観する。



日時：2022年11月30日(水) 12時10分～13時30分

場所：オンライン(ZOOM) ☆参加希望の方は、下記のURLにて事前登録をお願いします。登録者にはZoom情報が自動で配信されます。

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/meeting/register/tZcodemsrT4tG9ItNv4dps01isux5MQ80APZ>

主催：文学研究科アジア親密圏/公共圏教育研究センター (ARCIP)

問い合わせ先：平川佳世 hirakawa.kayo.6z@kyoto-u.ac.jp